

●ご挨拶

藤沢市議会議員の山口まさやです。平成27年の4月に皆様のご多大なるご支援を頂き初当選してから早3年半が過ぎ、任期最後の年となりました。この3年半で、皆様のご期待に応える仕事のできたのか必ずしも十分ではないかもしれませんが、私なりに新人議員ではございますが、精一杯、市民の皆様のために、藤沢市政のために汗を流し働いてまいりました。まだまだ、至らぬ点はございますが、皆様からご指導、ご鞭撻を頂き、議員としてもっともっと成長し頑張りますので、どうぞ今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

1971年(昭和46年)11月7日生まれ。みふじ幼稚園卒園・片瀬小学校卒業・片瀬中学校卒業
大清水高校(現藤沢清流高校)卒業・横浜商科大学卒業
藤沢市みどりいっぱい市民の会(副会長)・片瀬市民スポーツの会(副会長)
藤沢市サッカー協会(理事)・藤沢市交通安全協会(代議員)・江の島海水浴場営業組合(顧問)
スバナ通り町内会(顧問)・宝製菓株式会社(顧問)・(有)ソルトプランニング(取締役)



活動報告

・インバウンド勉強会

地元の星野つよし衆議院議員の後援会と合同で、前観光庁参事官黒須卓氏を講師としてお迎えし、訪日外国人の『訪りたい』観光地をテーマに観光施策をめぐる現状の課題などのインバウンド勉強会を行いました。



・地域の子供たちの為に

子供たちの夏休み中は交代で、地元の片瀬小学校のプールの監視員のボランティア活動をしたり『かたせハロウィンフェスティバル』など普段から様々な地域イベントのお手伝いをしております。



・交通安全街頭指導

毎月1日、15日と春・秋の交通安全週間には、母校の小学校門横に立ち、児童たちに交通安全街頭指導と朝の挨拶運動を。飲酒運転の無い世の中を目指します。



・防犯活動

毎月の町内防犯パトロールをはじめ、夏季の江の島周辺夜間パトロールや藤沢駅周辺繁華街の街頭パトロールなどに参加しています。



・地域活性化

片瀬江ノ島ちよい呑みフェスティバルの開催や鶴沼サーファーズ地引網の開催や龍の口竹灯籠などの実行委員として、湘南らしいイベントで地域を盛り上げています。今年は鈴木つねお市長もお越しくださいました。



・伝統文化の継承

片瀬コマ保存会のメンバーとして、片瀬コマ大会の開催や市内の小中学校の授業にて片瀬コマの体験会などを行い、地元のお祭りでは役員として活動しています。



●平成30年度6月一般質問 《民泊について》

住宅宿泊事業法いわゆる民泊新法が6月15日から施行され、一般の住宅にも有料で旅行者を泊めることができる民泊が全国的にスタートしたことにより観光地江の島がある本市でも民泊が行われています。本市の民泊届出施設数は9件であり内届出受理が4件と少ない状況です。ですが、特に片瀬地区などでは、ヤミ民泊の騒音やごみ出しマナーなどの話を聞きます。民泊に対する苦情の現状や取締りなどについてまた、ヤミ民泊についての今後の対応などについて質問をさせて頂きました。ヤミ民泊の取締りの強化と地域住民の安全・安心な生活を第一に考え、既存宿泊施設と許可を得た民泊施設とのバランスを考慮し、共存共栄のできる取組を進めることを要望しました。

●平成30年度6月一般質問 《江ノ島周辺での自転車駐輪スペースの拡充について》

江の島周辺では、国道134号線や467号線も慢性的が発生し、自転車で来る方が増えていて特に土日・祭日などの駐輪スペースの確保が課題となっています。また江の島大橋の3車線化に伴い自転車専用レーンの整備などで、今後は更に自転車利用者が増えることが予想されますので、江の島周辺の駐輪スペースの拡充を早急に整備することを要望しました。1年を通じ、国内・国外をはじめ多くの観光客が訪れる江の島ですが、特にGWや正月をはじめ週末は混雑しており、江の島参道など安全・安心に江の島観光を楽しめる動線の確保を地元の皆様に尊重し取り組むことを要望しました。

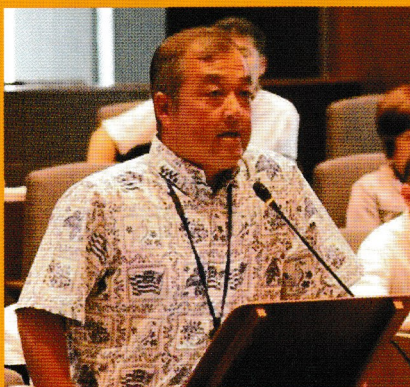
●平成30年度9月一般質問 《通学路や津波避難路における危険ブロック塀について》

今年6月18日の朝に大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1の地震において、小学校のプール脇のブロック塀が倒壊し、小学校4年生の女の子が下敷きになり死亡した事件が起きました。それに伴い全国的に危険ブロック塀の調査がありました。本市における公共施設や小中学校や幼稚園・保育園や通学路や津波避難路などの危険ブロック塀の調査状況や対応においていくつか質問をし公共施設においては、すでに対応済みのものが7施設年度内に対応するものが17施設、再調査の結果、危険性がないと判断されたものが1施設小学校には万年塀があるのが13校ありますが敷地内には危険ブロック塀はなしとの事でした。通学路におけるブロック塀は、民間所有のものもあり目視での外観上の確認となるため危険性の判断はできないとの事だが、市内で1570箇所の対象の内、傾きやひび割れなどが確認されたのは170箇所であり、同じく津波避難路における箇所は385箇所でした。撤去・再設置には補助制度がありますが決して安いものではありません。補助金制度の広報や危険性の周知、特に津波避難路や通学路には補助額の拡充はスピード感を持って実現することを要望してまいりました。

山口まさやは

これからも市民の皆さんの声を行政に届けます。

所属委員会



- 平成27年度
建設経済常任委員会、災害対策等特別委員会、広報広聴委員会、予算等特別委員会
- 平成28年度
こども文教常任委員会、災害対策等特別委員会、広報広聴委員会、予算等特別委員会
- 平成29年度
総務常任委員会(副委員長)、議会運営委員会、議会改革検討会、ICT検討部会
藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
- 平成30年度
厚生環境常任委員会、補正予算常任委員会(副委員長)、行政改革等特別委員会
予算等特別委員会